

移住・定住対策の現状と課題

質問 人口減少問題は喫緊の課題。移住・定住対策の重要施策として打ち出した人口プロジェクト及びILCプロジェクトの進捗状況を伺う。

市長 人口プロジェクトを通じた移住・定住対策として、新たに、移住・定住ホームページをリニューアルし本市を広くPRするほか、市内高校生・専門学校生・移住者等とワークショップ形式による移住定住施策への意見提言や、専門業者に業務委託し、今後5カ年の基本戦略を策定、来年度から事業に着手する予定。なお、ILCプロジェクト（まちづくりビジョン）に掲げている移住・定住関連事業は、本県誘致が確定していない現時点では検討の段階に入っていない。

地域医療と総合水沢病院の改修

質問 奥州市全体の医療バランスを見ると江刺区は医療体制が薄い。今後の医療過疎地域の対策は。更に、新市立病院建設より、総合水沢病院を利用する市民の生命を守るのが先決であり、早急な改修を望むがいかがか。

市長 医師や看護師等が不足する中で、県立病院や民間病院と連携しながら地域バランスを考えたい。水沢病院の改修について、耐震診断や老朽化、駐車スペース、改修工期、診療継続等を検討した結果、現地での改修は困難であり、抜本的な対策は移転新築しかないと判断した。患者の安全確保には、現状を説明し理解を求めながら、新病院開院まで災害対応訓練など避難訓練の充実や関係機関との連携拡大を通じてき得る対策を講じたい。



ひろの 富男 議員(市民クラブ)



患者の命が第一！早期改修を望む

小沢市政の成果と課題 行財政改革について

質問 行財政改革は奥州市発展を期するためには必要不可欠である。今日までの小沢市政8年間の成果と課題をどう捉えているか伺う。

市長 財政の健全化は最重要課題と考えている。長期財政見通しの元、90億円を超える基金を積み増しすると共に180億円の起債残高を削減した。公の施設、事務事業の見直しにより生み出された財源は新たな政策、事業に振り向けてゆく。

地域経済の現状と振興対策は

質問 本市の経済は疲弊の方向にあると思われる。活力あるまちづくりの源は力強い地域経済があつて実現されるところ。農商工の現状と対策について伺う。

市長 農業振興については不足な部分はあると認識している。農協との合同事業に於いて協議し対策を講ずる。商工業にあつては、人材不足解消に向け対策を講じる。定住化人口を増すことにより商工業の活性を図る。

地区センターの現状と課題は

質問 協働のまちづくりの原点は地区センターにある。地域の個性が光り輝くまちづくりを進める観点から、地区センターの組織体制の見直しを図る必要があると思われるがその考えについて。

市長 地域づくりを担う人材不足、確保が課題と捉えている。協働のまちづくりに繋げる狙いがあることから職員の方、待遇改善等について適切に対応する。



望ましい体制、改善が求められる南都田地区センター



かとう 清 議員(新世会)